

エコアクション 21

環境経営レポート

活動期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日



発行日 令和5年6月1日

次回発行 令和6年6月1日



(株)相双環境整備センター

目 次

環境経営方針	2
第1 組織概要	3-4
第2 【中長期】環境経営目標	5-6
第3 主要な環境経営計画内容	7-9
第4 環境経営目標及び計画の実績・取組結果と評価・次年度取組内容	10-12
第5 環境関連法規の違反、訴訟等の有無	13
第6 情報公表項目	13
第7 施設の状況	14
第8 受託した産業廃棄物の収集運搬量	15
第9 代表者による全体評価と見直しの結果	16
SDGsの達成に向けた取組み	

環境経営方針

当社は、自然と調和した快適な環境を次の世代に継承する責務を認識し、各事業をとおして、人と自然が共生できる持続可能な社会の実現と環境負荷の低減に貢献することを目指して活動します。

1.環境負荷の低減

資源とエネルギーの消費、廃棄物の抑制等の環境に与える負荷の低減を継続的に実施していく環境保全活動に、自主的、積極的に取り組むことにより、社会に貢献する。

2.環境マネジメントシステムの確立

省資源、省エネルギー、廃棄物の抑制等を行う為、環境マネジメントシステムを確立し、見直しを行って、その継続的な改善及び環境汚染の予防を行い維持する。

3.環境関連諸法規の遵守

関連する環境の法規、条令及びその他の規制事項を遵守する。

4.地域社会への貢献

地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努める。

5.環境コミュニケーションの推進

環境活動レポートを当社に備え付け、地域や関係する利害関係者の人々からの要求に応じ配布・公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2020年4月1日 改定

2005年10月3日 制定

株式会社 相双環境整備センター

代表取締役

佐藤光正

第1 組織概要

- 1 商号 株式会社 相双環境整備センター
- 2 所在地 福島県南相馬市原町区金沢字荒次郎283番地の1
- 3 法人設立 昭和61年9月3日
- 4 資本金 1,000万円
- 5 代表者 代表取締役 佐藤 光正 平成18年4月就任
- 6 役員等 取締役 佐藤 あけみ 平成20年7月就任
取締役 佐藤 裕一 平成23年8月就任
- 7 従業員数 64名(令和5年4月1日現在)
- 8 会社概要

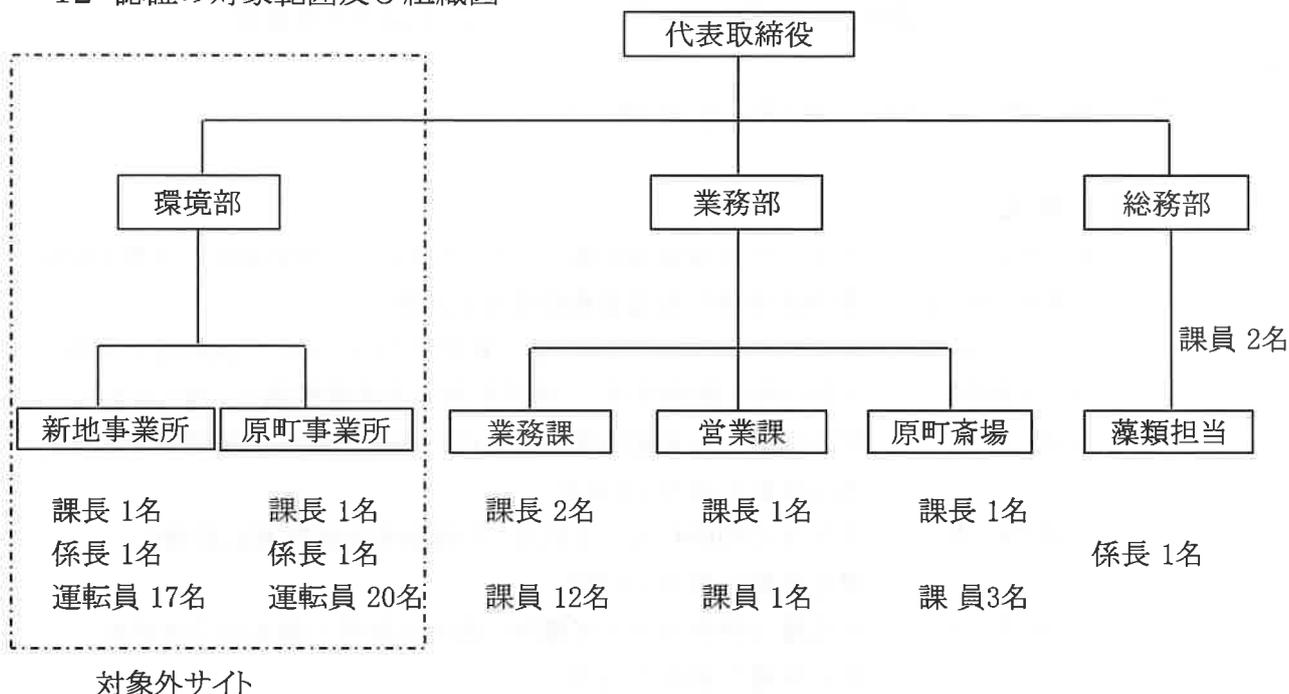
昭和61年9月	有限会社相双環境整備センターを設立 一般廃棄物の収集を開始
昭和63年5月	産業廃棄物収集運搬業の許可を取得
平成元年3月	総合ビルメンテナンス業として南相馬市内において清掃業を開始
平成4年8月	有限会社を組織変更し、株式会社相双環境整備センターとする
平成5年4月	相馬共同火力発電(株)新地発電所の環境装置等の環境保守業務を東北発電工業(株)より受託
平成7年8月	東北電力(株)原町火力発電所1号機環境装置試運転業務を東北発電工業(株)より受託
平成9年7月	東北電力(株)原町火力発電所の環境装置等の運転保守業務を東北発電工業(株)より受託
平成10年8月	本社を南相馬市原町区桜井町より現在地に移転
平成22年4月	南相馬市原町斎場業務を南相馬市より指定管理者として受託
平成23年7月	南相馬市災害廃棄物処理事業を(一社)福島県産業廃棄物協会より受託(現:福島県産業資源循環協会)
平成25年10月	南相馬市鎮魂復興市民植樹祭基盤整備(盛土等)作業受託以降毎年実施
- 9 環境管理責任者氏名 青田 美智子
担当者 青田 美智子
連絡先 TEL 0244-24-4811
FAX 0244-22-0151
E-mail ss-ksc@abelia.ocn.ne.jp

10 事業所の規模 事業所面積:3,000㎡

11 事業内容

- (1) 産業廃棄物の収集運搬業務
- (2) 特別管理産業廃棄物の収集運搬業務
- (3) 環境整備のための各種委託施設、環境装置等の運転保守業務
- (4) 指定管理施設の運営
- (5) 各号に付帯関連する事業

12 認証の対象範囲及び組織図



【対象サイト】 23名
 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集・運搬、
 指定管理施設の運営

【対象外サイト】 41名
 環境整備のための各種施設・装置の運転保守業務

13 売上高 2022年度 609百万円

14 優良産廃処理業者認定制度 最終更新日 平成31年2月5日

《基準適合》 福島県 産業廃棄物収集運搬業 平成24年6月14日
 特別管理産業廃棄物収集運搬業 平成25年7月3日

第2 【中長期】環境経営目標

■ 業務課・営業課・総務部

2019年度を基準年として、毎年1%ずつ削減し、グリーン購入は積極的に行うこととする。
地域社会貢献活動については、毎月1回行う。

項目	単位	2019年度 基準年	2020年度 -1%	2021年度 -2%	2022年度 -3%	2023年度 -4%	2024年度 -5%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /売上高	12.88	12.75	12.62	12.49	12.36	12.24
購買電力量	Kwh/売上高	0.27	0.27	0.26	0.26	0.26	0.26
灯油	L/売上高	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04
液化石油ガス	kg/売上高	0.23	0.23	0.23	0.22	0.22	0.22
ガソリン	L/売上高	0.24	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23
軽油	L/売上高	11.91	11.79	11.67	11.55	11.43	11.31
一般廃棄物排出量	kg	149.90	148.40	146.90	145.40	143.90	142.41
燃費(基準年比1%増)	km/L	P6 参照					
総排水量	m ³	102	101	100	99	98	97
地域社会貢献活動	回	12	12	12	12	12	12

電気事業者名 東北電力㈱ 電力排出係数 0.51 kg-CO₂/kwh 平成31年度実績値

単年度目標

■ 原町斎場

2019年度を基準年として、毎年1%ずつ削減目標とする。

項目	単位	2019年度 基準年	2020年度 -1%	2021年度 -2%	2022年度 -3%	2023年度 -4%	2024年度 -5%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /火葬件数	120.37	119.17	117.96	116.76	115.56	114.35
購買電力量	Kwh/火葬件数	46449.00	45984.51	45520.02	45055.53	44591.04	44126.55
灯油	L/火葬件数	36040.00	35679.60	35319.20	34958.80	34598.40	34238.00
液化石油ガス	kg/火葬件数	15.94	15.78	15.62	15.46	15.30	15.14
一般廃棄物排出量	kg/火葬件数	230.00	227.70	225.40	223.10	220.80	218.50
総排水量	m ³ /火葬件数	188.00	186.12	184.24	182.36	180.48	178.60

電気事業者名 東北電力㈱ 電力排出係数 0.51 kg-CO₂/kwh 平成31年度実績値

■産廃車両 平均燃費削減目標

2019年度を基準年として、毎年1%ずつ増加を目標とする。

車両No.	基準年燃費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	2019年度 平均燃費	2020年度 平均燃費	2021年度 平均燃費	2022年度 平均燃費	2023年度 平均燃費	2024年度 平均燃費
10tダンプ 54-76	3.38	3.41	3.44	3.48	3.51	3.55
10tダンプ 38-64	3.07	3.10	3.13	3.16	3.16	3.23
10tダンプ 35-72	3.27	3.31	3.34	3.37	3.37	3.44
10tダンプ 50-01	3.24	3.27	3.30	3.33	3.33	3.40
10tダンプ 55-41	3.20	3.23	3.26	3.29	3.29	3.36
10tダンプ 34-69	3.80	3.84	3.88	3.91	3.91	3.99
10tダンプ 32-17	2.89	2.92	2.94	2.97	2.97	3.03
8tアーム 54-45	5.28	5.34	5.39	5.44	5.44	5.55
8tアーム 53-75	5.32	5.38	5.43	5.48	5.48	5.59
8tアーム 39-57	5.06	5.11	5.16	5.21	5.21	5.31
4tアーム 64-49	5.67	5.73	5.78	5.84	5.84	5.95
4tアーム 95-93	6.23	6.29	6.36	6.42	6.42	6.54
8tユニック 51-31	4.89	4.94	4.99	5.03	5.03	5.13
8tユニック 44-96	5.11	5.16	5.21	5.26	5.26	5.36
4tユニック 40-22	6.94	7.01	7.08	7.15	7.15	7.29
4tユニック 63-39	6.20	6.27	6.33	6.39	6.39	6.51
4tユニック 14-04	7.16	7.23	7.31	7.38	7.38	7.52
4tパッカー 84-1	7.09	7.16	7.23	7.30	7.30	7.44
4tダンパー 51-38	2.64	2.66	2.69	2.72	2.72	2.77
3tトラック 71-33	8.11	8.19	8.27	8.35	8.35	8.51
2tパワーゲート 99-77	10.48	10.58	10.69	10.79	10.79	11.00
2tダンプ 48-83	9.12	9.21	9.30	9.39	9.39	8.76

単年度目標

第3 主要な環境経営計画内容

■環境経営目標

二酸化炭素総排出量を2019年度を基準として毎年1.0%ずつ、削減することを目標とする。
今年度は、2019年度比3.0%削減を目標とし、環境負荷項目ごとに以下のとおり取り組むものとする。

具体的な取り組み・責任者・スケジュール

【総務部・業務部】

取組目標	具体的な取組	責任者	スケジュール											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気使用量の削減	昼休み時間の消灯	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	事務所内不要箇所の消灯	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	不要主電源切断	佐久間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	冷暖房温度の基準遵守	青田				●	●	●		●	●	●	●	●
ガス使用量の削減	暖房器具・湯沸し器の適正使用	青田	●								●	●	●	●
水道使用量の削減	節水運動の推進	菅野	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	洗車用水の節水推進	堀込	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
軽油使用量の削減	運搬車両の走行距離・油量の管理	堀込	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	適正な運行ルート指示	堀込	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	エコドライブの推進	堀込	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガソリン使用量の削減	適正な運行ルート	佐久間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	エコドライブの推進	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
一般廃棄物排出量の削減	ミスコピーの削減	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	分別ボックスの設置	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	無駄な郵便物を受け取らない	菅野	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	マイボトル・マイカップの使用推進	青田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

【原町斎場】

取組目標	具体的な内容	責任者	スケジュール											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気使用量の削減	昼休み時間の消灯	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	事務所内不要箇所の消灯	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	不要主電源切断	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	冷暖房温度の基準遵守	齋藤				●	●	●		●	●	●	●	●
ガス使用量の削減	暖房器具・湯沸し器の適正使用	齋藤	●								●	●	●	●
水道使用量の削減	節水運動の推進	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
灯油使用量の削減	火葬時の油量の管理	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	火葬技術の向上	鈴木	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
一般廃棄物排出量の削減	ミスコピーの削減	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	分別ボックスの設置	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	マイボトル・マイカップの使用推進	加茂	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

1 二酸化炭素の排出抑制、電気使用量の削減

(1) 就業中の間引き照明・昼休み時間の消灯

(2) 冷暖房温度の基準遵守

(3) エコ運転の推進

(4) グリーンカーテン



【事務所内スイッチ】



【事務所前グリーンカーテン】



【事務所内掲示物】

電気使用量の削減では、各部屋のスイッチ廻りに節電表示を貼り、従業員の意識高揚を図っている。また、照明スイッチに点灯する箇所を明示し、不要な電気の消灯を積極的に行えるようにしている。

毎年、夏時期に事務所廻りに朝顔などを植え、グリーンカーテンを作り、窓から入る直射日光を遮ることで室内の温度上昇を抑えている。

当社において二酸化炭素の排出量に一番直結する軽油については、燃費管理を徹底し、運転手に提示することにより、よりエコ運転の意識を高揚するよう努めている。

営業車両については、環境に配慮したハイブリットカーを使用し、適正な運行ルートを走行するなど、環境負荷の低減つなげている。

2 一般廃棄物の抑制・適正処理

(1) コピー用紙の両面使用等

コピー用紙においては用紙の両面使用を促す掲示を行うなど、用紙の使用削減を図っている。また、ミスコピー等を減らすために、印刷プレビューで必ずチェックするよう周知している。

(2) 分別ボックスを設置するなど、分別の徹底

再資源・再利用のための分別は活動以前から行っていたが、さらなる分別徹底を行うため、わかりやすく表示した分別ボックスを設置し、一般廃棄物の削減を呼び掛けている。

3 節水、水の効率利用

(1) 社内の節水運動の推進

事務所及び休憩室の水回りには節水を促す掲示を貼り、従業員の意識高揚を図っている。2018年度に、トイレ改修工事を行い、洗浄水量が3.8L(小)、5L(大)の節水タイプのトイレに変更している。

2022年1月に井戸メーターを設置し、地下水の使用量を計測している。

今後、正確な地下水の使用量が明確になることで、節水意識がさらに向上するよう呼びかけていきたい。



【水道周り掲示物】



【改修工事後のトイレ】

4 環境に配慮した物品購入

(1) グリーン購入についての啓蒙活動

グリーン購入法に適合するエコマークのついた作業服を購入している。

(2) 事務用品の優先的なエコ商品購入

事務用品の購入時にはグリーン購入適合マークがある商品を優先的に購入し従業員にも購入するよう呼び掛けている。



【エコマーク】

5 地域・社会貢献活動の推進

(1) 地域清掃活動の推進

2006年1月より会社周辺の清掃活動を実施しており、また、毎年開催されるビーチクリーン活動(海水浴場清掃)にも毎年積極的に参加している。

2011年の震災以降の相双地域の復旧・復興活動に協力し、現在も災害廃棄物対応にあたっている。



【会社周辺清掃活動】



【災害仮置き場】

(2) 植樹祭への参加

南相馬市で開催される鎮魂復興市民植樹祭へは、今年度も参加し、全体で18,000本の植樹を行った。

第4 環境経営目標及び計画の実績・取組結果と評価

【総務部・業務部】

エネルギー使用量、二酸化炭素排出量を2019年度比3%削減を目標として掲げ取り組んだ結果は、以下の表となる。

全ての項目について、共通して言えることは、2019年度と比べ売上高が伸びたことにより概ね目標を達成することができた。災害廃棄物の運搬で増加した軽油も、原単価目標の90%以上の達成率を確保することができた。

原単価目標を100%以上達成しているエネルギー使用量は、電気、ガスとなっている。

電気については、徹底した間引き照明、昼休み時間帯の消灯など節電を継続して行い、ガスについては、必要時にガスの元栓を開けることで不要なガスの使用を抑制し、使用量が0となる月が2回もあった。

	2019年度	2022年度		達成度(%)	評価
	実績	目標	実績		
二酸化炭素排出量(kg-CO2/売上高(万円))	12.88	12.75	13.72	92.94	○
電気使用量(kwh/売上高(万円))	0.51	0.50	0.29	178.63	◎
ガソリン使用量(L/売上高(万円))	0.24	0.23	0.08	300.96	◎
軽油使用量(L/売上高(万円))	4.62	4.48	5.08	90.94	○
ガス(kg/売上高(10万円))	0.08	0.07	0.04	212.59	◎
一般廃棄物量(kg/売上高(10万円))	0.08	0.07	0.04	172.71	◎
総排水量(m ³ /売上高(10万円))	0.09	0.09	0.04	213.95	◎

電気事業者名 東北電力㈱ 電力排出係数 0.51 kg-CO2/kwh 平成31年度実績値

取組目標	具体的な取組	実施状況
電気使用量の削減	昼休み時間の消灯	○
	事務所内不要箇所の消灯	○
	不要主電源切断	○
	冷暖房温度の基準遵守	○
ガス使用量の削減	暖房器具・湯沸し器の適正使用	○
水道使用量の削減	節水運動の推進	○
	洗車用水の節水推進	○
軽油使用量の削減	運搬車両の走行距離・油量の管理	○
	適正な運行ルート指示	○
	エコドライブの推進	○
ガソリン使用量の削減	適正な運行ルート	○
	エコドライブの推進	○
一般廃棄物排出量の削減	ミスコピーの削減	○
	分別ボックスの設置	○
	無駄な郵便物を受け取らない	○
	マイボトル・マイカップの使用推進	○

【原町斎場】

全ての項目について、95%以上の達成度となっており、ガス使用量については、478%と大幅な数値となっており、使用量が0となる月が2回もあった。

一般廃棄物の達成率も247%と大幅に上がっている。コロナ禍により来場者数を制限していることにより、来場者のゴミの量が少なくなったことが大きな要因となっている。

	2019年度	2022年度		達成度(%)	評価
	実績	目標	実績		
二酸化炭素排出量(kg-CO2/火葬件数)	120.33	116.72	117.72	99.15	○
電気使用量(kwh/火葬件数)	25.55	24.79	22.78	108.82	◎
ガス(kg/火葬件数)	0.01	0.01	0.00	478.60	◎
灯油使用量(L/火葬件数)	94.76	91.92	94.93	96.82	○
一般廃棄物量(kg/火葬件数)	0.62	0.60	0.24	247.27	◎
総排水量(m ³ /火葬件数)	0.20	0.19	0.18	108.68	◎

電気事業者名 東北電力㈱ 電力排出係数 0.51 kg-CO2/kwh 平成31年度実績値

取組目標	具体的な内容	実施状況
電気使用量の削減	昼休み時間の消灯	○
	事務所内不要箇所の消灯	○
	不要主電源切断	○
	冷暖房温度の基準遵守	○
ガス使用量の削減	暖房器具・湯沸し器の適正使用	○
水道使用量の削減	節水運動の推進	○
灯油使用量の削減	火葬時の油量の管理	○
	火葬技術の向上	○
一般廃棄物排出量の削減	ミスコピーの削減	○
	分別ボックスの設置	○
	マイボトル・マイカップの使用推進	○

実施状況	実施した	○
	実施しなかった	×
	判定できない	—

【産廃車両 平均燃費目標及び実績】

産廃車両については、各車両ごとに燃費管理を行い、以下のような目標達成及び評価となった。

22台中、半数の11台が原単価目標の100%以上を達成することができた。

車両No.	基準年燃費 2019年度 平均燃費	令和4年度 2022年度				目標達成率 (a)/(b)*100	達成度の評価
		目標(a)	平均燃費(b)	軽油削減量	CO2削減量		
10tダンプ 54-76	3.38	3.48	3.40	75.77	198.44	97.66	○
10tダンプ 38-64	3.07	3.16	3.36	1076.65	2819.74	106.21	◎
10tダンプ 35-72	3.27	3.37	3.26	▲ 24.43	▲ 63.97	96.80	○
10tダンプ 50-01	3.24	3.33	3.20	▲ 129.78	▲ 339.88	95.96	○
10tダンプ 55-41	3.20	3.29	3.45	760.96	1992.95	104.73	◎
10tダンプ 34-69	3.80	3.91	3.38	▲ 1718.97	▲ 4501.99	86.28	△
10tダンプ 32-17	2.89	2.97	3.64	1503.85	3938.59	122.38	◎
8tアーム 54-45	5.28	5.44	5.63	403.83	1057.62	103.44	◎
8tアーム 53-75	5.32	5.48	5.97	255.72	669.72	108.81	◎
8tアーム 39-57	5.06	5.21	5.03	▲ 39.83	▲ 104.31	96.43	○
4tアーム 64-49	5.67	5.84	6.22	309.22	809.84	106.48	◎
4tアーム 95-93	6.23	6.42	7.30	367.82	963.33	113.78	◎
8tユニック 51-31	4.89	5.03	4.56	▲ 227.10	▲ 594.77	90.61	○
8tユニック 44-96	5.11	5.26	4.74	▲ 152.31	▲ 398.90	90.15	○
4tユニック 40-22	6.94	7.15	6.65	▲ 94.77	▲ 248.19	93.09	○
4tユニック 63-39	6.20	6.39	6.11	▲ 17.56	▲ 45.98	95.64	○
4tユニック 14-04	7.16	7.38	7.88	36.46	95.49	106.87	◎
4tパッカー 84-1	7.09	7.30	8.56	110.09	288.34	117.33	◎
4tダンパー 51-38	2.64	2.72	2.35	▲ 6.89	▲ 18.05	86.47	△
3tトラック 71-33	8.11	8.35	8.32	36.39	95.29	99.70	○
2tパワーゲート 99-77	10.48	10.79	10.91	20.91	54.76	101.08	◎
2tダンプ 48-83	9.12	9.39	14.17	148.34	388.50	150.83	◎

達成度の評価	100%以上	◎
	80%以上から100%未満	○
	60%以上から80%未満	△
	60%未満	×

■次年度(2023年)の取組内容

活動目標	活動内容	活動数値目標	取組部門
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量及び化石燃料の削減	2019年度比4%削減	総務部・業務部 原町斎場
一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の抑制・適正処理	2019年度比4%削減	総務部・業務部 原町斎場
水使用量の削減	水使用量の管理・節水	2019年度比4%削減	総務部・業務部 原町斎場
運搬車両の燃費の向上	燃費管理及びエコドライブの徹底	2019年度比4%増加	業務部
地域社会貢献活動	地域社会貢献活動の推進	毎月の活動	総務部・業務部 原町斎場

第5 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

環境関連法の違反はありません。

地域社会からの環境関連に関する指摘もなかった。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

さらに、自社で遵守状況をチェックした結果、問題はなかった。

第6 情報公表項目

- 1 法人設立 昭和61年9月3日
- 2 資本金 1,000万円
- 3 売上高 2022年度 609百万円
- 4 組織図 第1 組織概要参照
- 5 事業計画の内容
排出事業者より排出される産業廃棄物を収集運搬する。
事前に排出事業者と文書による契約を結び、関係諸法令を遵守し、業務を行う。廃棄物の処理状況については、マニフェスト伝票を使用して確認する。

6 許可証の記載事項

【 福島県 】

許可番号	第00715005280号
許可年月日	平成31年3月12日
許可有効期限	令和8年3月11日
事業区分	収集運搬(積替え保管行為を含む)
産業廃棄物の種類	<p>ア 積替え保管行為を含むもの</p> <p>①廃プラスチック類、②木くず、③金属くず、④ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(廃蛍光管及び廃ランプ類に限る。)⑤がれき類(これらのうち石綿含有廃棄物を含み、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く) 以上5種類</p> <p>イ 積替え保管を含まないもの</p> <p>①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥紙くず、⑦繊維くず、⑧動物性残さ、⑨ゴムくず、⑩ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含み自動車等破砕物を除く。)⑪鉍さい、⑫ばいじん、(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上12種類</p>

許可番号	第00755005280号
許可年月日	平成25年7月3日
許可有効期限	令和9年6月30日
事業区分	収集運搬(積替え及び保管行為を含まない。)
特別産業廃棄物の種類	<p>①廃油(揮発性油類、灯油類又はジクロロメタンを含むことのみにより有害なものに限る)、②廃酸(水素イオン濃度指数2.0以下のもの又は鉛又はその化合物を含むことにより有害のものに限る)、③廃アルカリ(水素イオン濃度指数12.5以上のもの又はカドミウム又はその化合物を含むことのみにより有害なものに限る)、④感染性産業廃棄物、⑤汚泥(鉛又はその化合物を含むことにより有害なものに限る)、⑥廃石綿等 以上6種類</p>

【 宮城県 】

許可番号	第0400005280号
許可年月日	令和4年10月11日
許可有効期限	令和9年10月10日
事業区分	収集運搬(積替え保管行為を含まない)
	<p>①汚泥、②廃油、③廃酸、④廃アルカリ、⑤廃プラスチック類、⑥紙くず、⑦木くず、⑧金属くず、⑩ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、⑪がれき類 以上11種類</p>

第7 施設等の状況

1 運搬車輛の種類と台数

(2022年4月現在)

	車種	車輛形式	最大積載量(kg)	台数
1	10tダンプ	ダンプ車	9,300	1
2	10tダンプ	ダンプ車	9,300	1
3	10tダンプ	ダンプ車	9,200	1
4	10tダンプ	ダンプ車	9,200	1
5	10tダンプ	ダンプ車	9,600	1
6	10tダンプ	ダンプ車	8,900	1
7	10tダンプ	ダンプ車	8,900	1
8	2tダンプ	ダンプ車	2,000	1
9	10tアームロール	脱着装置付コンテナ車	10,000	1
10	8tアームロール	脱着装置付コンテナ車	8,000	1
11	8tアームロール	脱着装置付コンテナ車	7,900	1
12	8tアームロール	脱着装置付コンテナ車	7,800	1
13	4tアームロール	脱着装置付コンテナ車	3,850	1
14	4tアームロール	脱着装置付コンテナ車	3,850	1
15	8tユニック	平ボデー(クレーン付)	5,500	1
16	8tユニック	平ボデー(クレーン付)	5,100	1
17	4tユニック	平ボデー(クレーン付)	3,200	1
18	4tユニック	平ボデー(クレーン付)	3,500	1
19	4tユニック	平ボデー(クレーン付)	3,000	1
20	2tパワーゲート	平ボデー	1,950	1
21	塵芥車	パッカー車	2,000	1
22	清掃車	ダンパー車	3,200	1
23	バン		3,000	1
合 計				23

2 積替え保管施設

施設の所在地	福島県南相馬市原町区金沢字荒次郎283番地の1
施設の面積	保管面積 75.6㎡
	保管容量 150m ³
産業廃棄物の種類	<p>○廃プラスチック類 ○木くず ○金属くず</p> <p>○廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず混合物(水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管及び廃ランプ類に限る。))</p> <p>○がれき類 ○廃プラスチック類</p> <p>○がれき類(石綿含有産業廃棄物)</p> <p style="text-align: right;">以上7種類</p>

第8 受託した産業廃棄物の収集運搬量

2022年度(2022年4月～2023年3月)

処理方法	廃棄物等種類	処分方法	収集運搬量(t)	
収集運搬	汚泥		4,459.10	
	廃油		30.20	
	廃プラスチック		559.10	
	紙くず		14.90	
	木くず		274.10	
	ゴムくず			
	金属くず		244.30	
	ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず		166.10	
	廃蛍光管及び廃ランプ類		1.40	
	水銀使用製品産業廃棄物		1.30	
	がれき類		1,119.50	
	ばいじん		247.60	
	燃え殻		308.10	
	鋳さい		1,501.80	
	廃アルカリ		8.40	
	廃酸		0.00	
	繊維くず		0.00	
	動植物性残さ		0.00	
	特別管理		感染性廃棄物	152.00
			廃石綿等	0.00
廃油		1.40		
引火性廃油		0.00		
廃アルカリ		0.00		
汚泥		0.80		
	バッテリー	0.00		
収集運搬合計			9,090.10	

廃棄物処理料金

料金は、廃棄物の形状、種類、量、距離等により見積書(無料)にて計算いたします。

第9 代表者による全体評価と見直しの結果

項目		評価	
環境目標と達成状況		二酸化炭素排出量の削減、電気使用量の削減、軽油使用量の削減、ガス使用量の削減、灯油使用量の削減、廃棄物(可燃物)削減等については、適切な取り組みができていた。	
環境活動計画の実施・評価		活動計画については、各責任者が適切に取り組むことができた。	
環境関係法規等の遵守状況		法規制遵守状況に問題はなかった。	
外部からの環境に対する苦情や要望等		環境に対する苦情・要望等はなかった。	
見直し・指示	対象	変更	見直し・指示の内容
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし。
	環境経営目標 環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有/ <input type="checkbox"/> 無	引き続きコロナ感染症対策を図った上で、計画目標に向けた取り組みを行うこと。
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし。

2021年からのコロナ禍により、事業活動が制限される中、災害廃棄物の仮置き場管理により、売上を伸ばすことができた。

このことにより、原単価の目標値の達成率は100%を超えるものもあり、今年度の目標は概ね達成できた。しかしながら、エネルギー価格の高騰により、経費が大幅に増加している。、今後の事業の安定継続のためにも、原単価目標だけに目を向けるのではなく、使用量削減により一層努力する必要がある。

環境経営計画の各項目については、責任者がしっかりと実施することができたが、従業員一人一人がもっと積極的に参加意識を持つことが必要である。

斎場については、原単価目標の達成率が全て95%を超えており、特にガスの使用量については、478%と、大幅に目標を達成している。節水、節電等を日々意識的に行い、エネルギー使用量の管理を徹底しているで目標の達成率が非常に高い。今後も継続してほしい。

灯油使用量については、火葬件数に影響されることから削減は難しい部分ではあるが、灯油の価格も高騰していることを考えると、より一層の火葬技術の向上が必要となってくる。

次年度は、継続的に環境負荷の低減を図るとともに、2025年度事業開始予定の中間処理場の建設を見据え、エコアクション21を含めた研修機会を充実させていく必要がある。

令和5年5月31日

代表取締役 佐藤 光正

SDGsの達成に向けた取り組み



- 屋内禁煙とし、受動喫煙を防止する対策を進めています。
- 従業員の身体状況の管理・把握のために健康診断実施率を100%とします。
- あらゆるところで使用する水を最低限に抑えます。



- 各所に節水の掲示物を貼付し、従業員の節水への意識を高めます。
- 有害な化学物質など処理しないまま流れ込まないよう対策を講じます。



- 産業廃棄物の適正な処分を行うための収集運搬を行います。
- 二酸化炭素排出量を削減するための取組を常に行います。
- 毎月1回クリーンデーを設け、会社周辺の清掃活動を行います。
- 従業員は、南相馬市で開催される植樹祭に積極的に参加します。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。
株式会社相双環境整備センター